

Workstyle Innovation Initiative

～ 働き方改革実践事例 ～

日本マイクロソフト株式会社
エグゼクティブアドバイザー
小柳津 篤





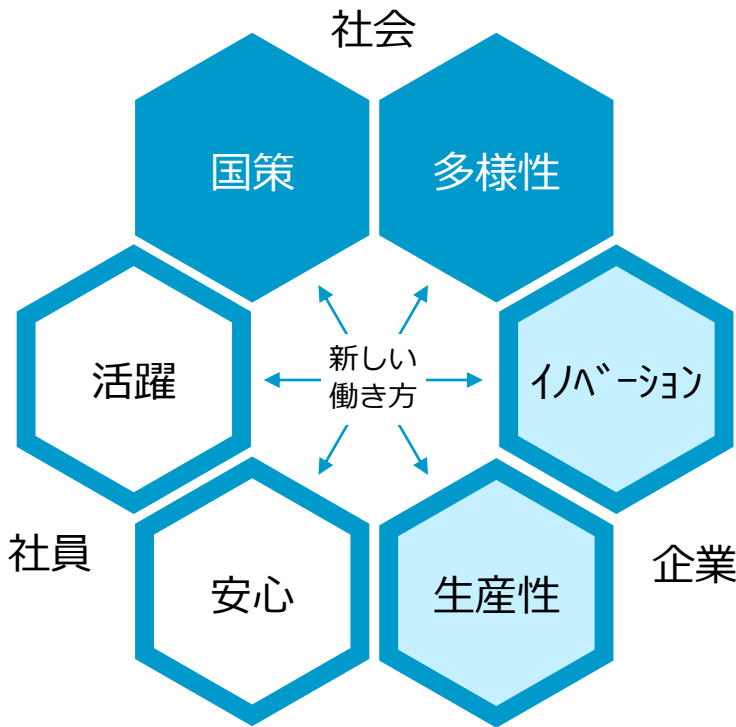
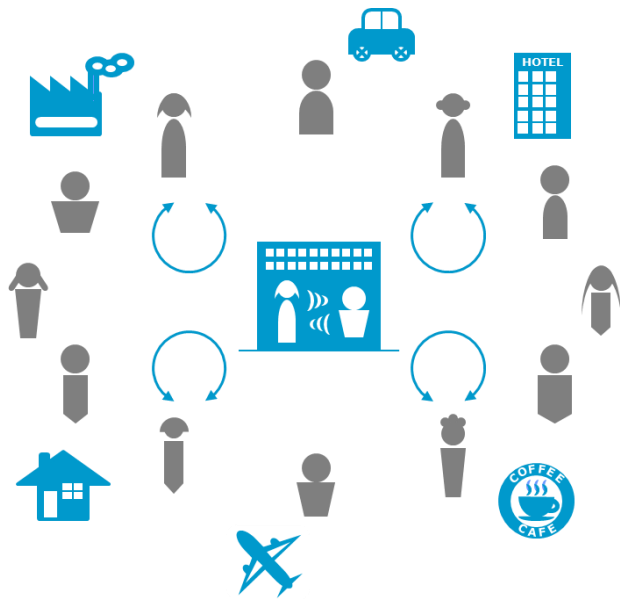
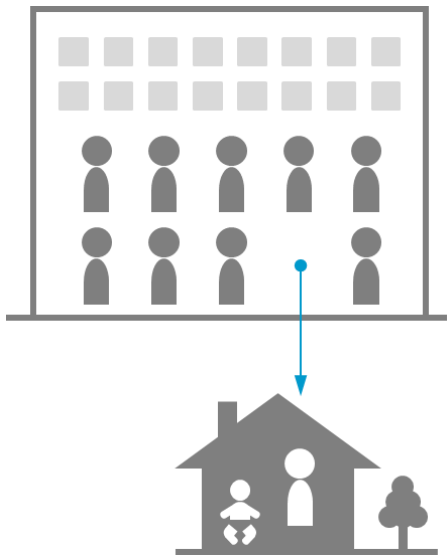
時代と共に変遷する役割：「働き方を変える」から「働き方が社会を変える」へ

働き方改革（前） → 働き方改革（最中） → 働き方改革（その先）

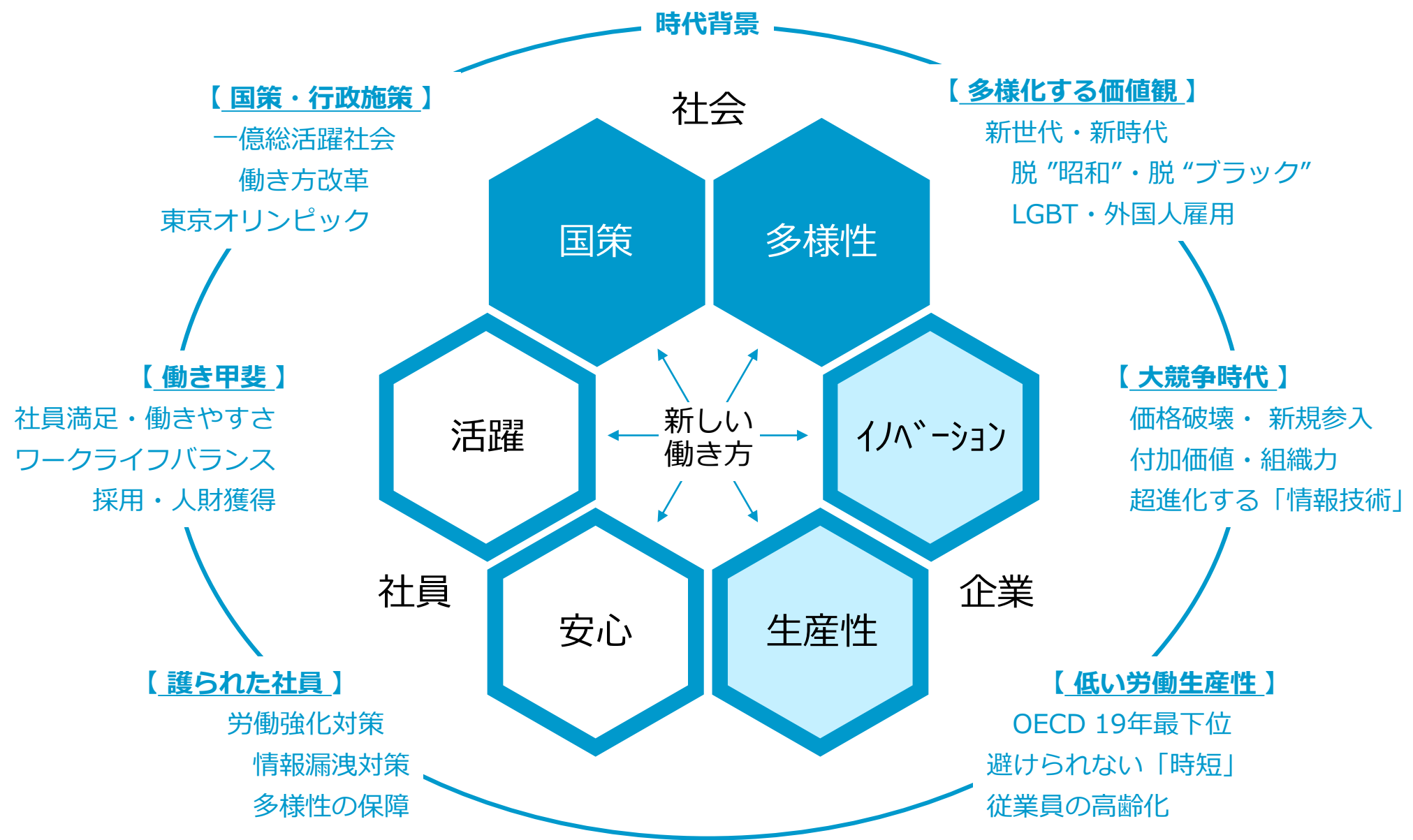
福利厚生の一部
（弱者救済）

重要な企業戦略
（いつでも、どこでも、誰とでも）

社会要請, 社会基盤
（社会の変化を象徴的に表現）



働き方改革（その先）：新しい働き方が社会の変化を象徴的に表現



日本マイクロソフトの働き方改革の進化

法人ビジネス拡大

事業継続の重要性拡大

クラウドビジネスの加速

企業・カルチャー変革

働き方改革 第一章

働き方改革 NEXT

2010

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

オフィス統合準備

東日本大震災

テレワーク
の日

テレワーク
の日

テレワーク週間
32賛同

テレワーク週間
651賛同

働き方改革週間
833賛同

働き方改革
NEXT 宣言

2007
在宅勤務制度

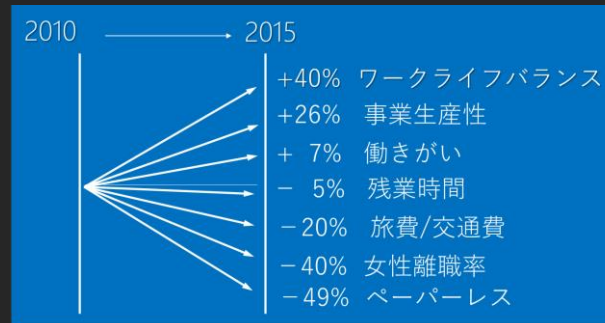
オフィス統合・本社移転

「いつでも、どこでも、活躍できる」フレキシブルワーク環境

就業規則の変更
(フレキシブルワーク)

ファミリーフレンドリー
休業制度

リターンシップ
プログラム



THE BEST OF NEW OFFICE
日経ニューオフィス賞
経済産業大臣賞

GREAT PLACE TO WORK
Best Workplaces Japan 2014

「働きがいのある会社」第1位
2014年、2016年

GREAT PLACE TO WORK
Best Workplaces Japan 2016

平成29年度テレワーク先駆者百選
総務大臣賞



地球温暖化防止活動
環境大臣表彰

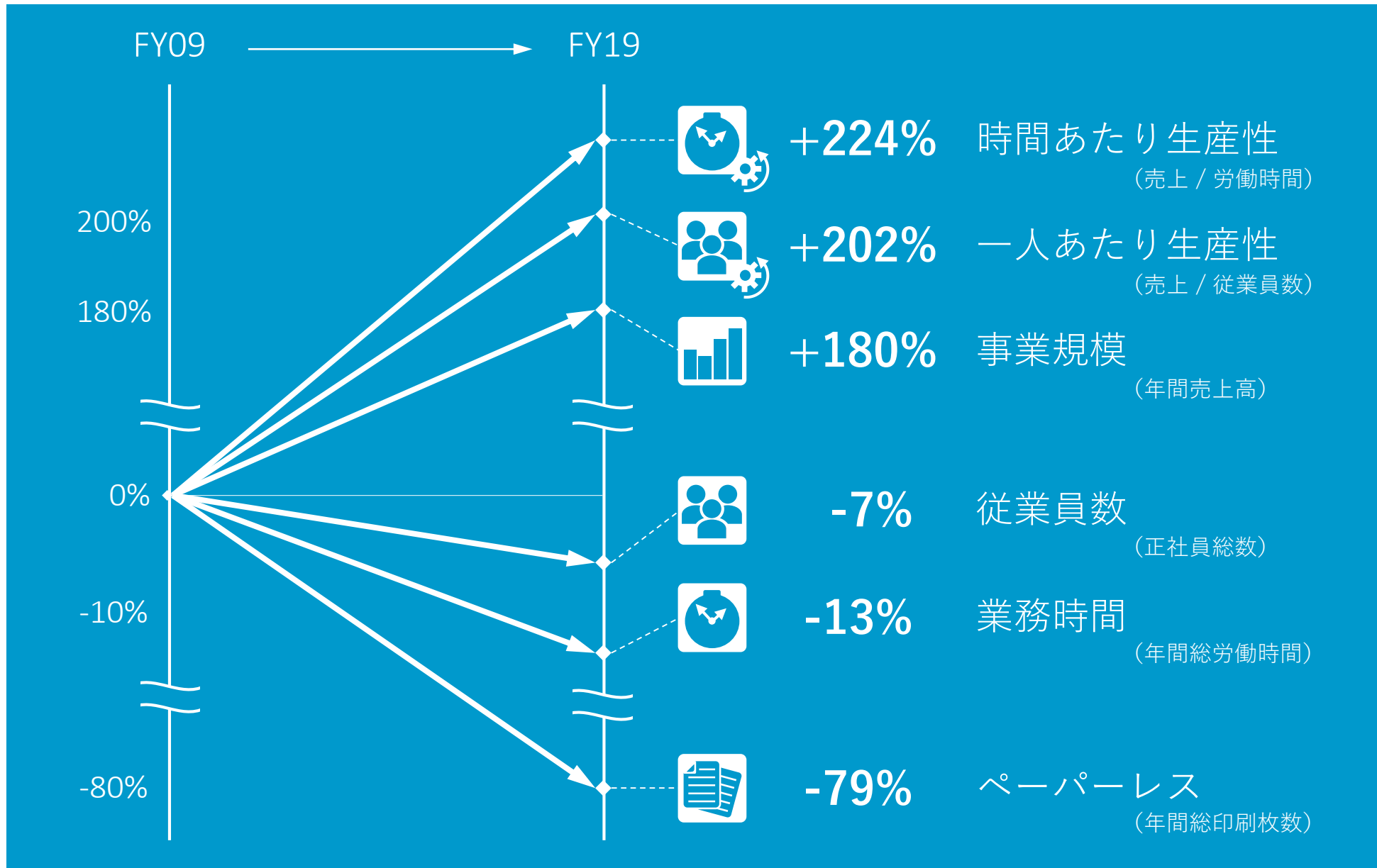


平成27年度 厚生労働大臣表彰
「輝くテレワーク賞」優秀賞

平成28年度 情報化促進貢献
個人等表彰 総務大臣賞



〈10年〉で振り返るビジネスの結果 @ 日本マイクロソフト



厚生労働大臣表彰
輝くテレワーク賞



総務大臣賞
情報化促進貢献表彰



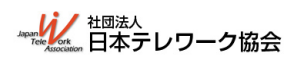
ニューオフィス賞
経済産業大臣賞



地球温暖化防止活動
環境大臣表彰



テレワーク推進賞 会長賞



テレワーク先駆者百選
総務大臣賞



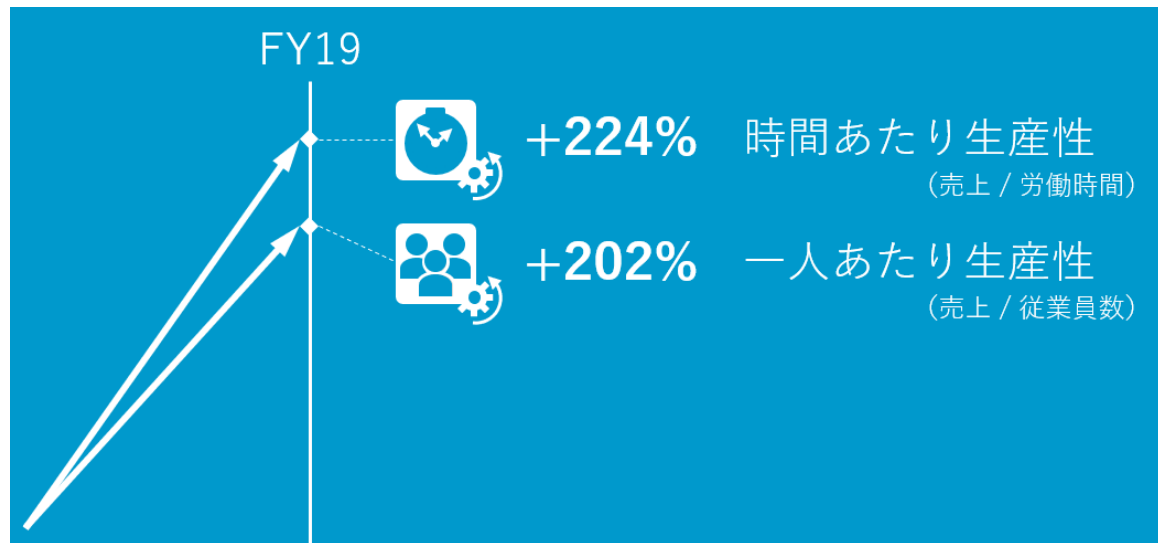
Great Place to Work
第1位



ワークスタイル改革を支援するIT企業
第1位 日本マイクロソフト
Nikkei BP Consulting, Inc.

ダイバーシティ
100選





生産性
向上 =

売上高



増やしたい



労働量



減らしたい



減らしたい



“仕事” そのものを減らす

- 本当に無くす : BPR
- 外に出す : 業務委託, BPO
- 技術に移管する : AI, RPA



減らしたい



短い時間で働く

- いつでも, どこでも, 誰とでも
- 利便性と安全性の両立
- ワークライフチョイス



増やしたい



儲かる仕組みに変える

- ビジネスモデルを変える
- トランスフォーメーション
- 売り物, 売り方, 売り先

「ワークライフチョイス チャレンジ 2019 夏」の実施概要

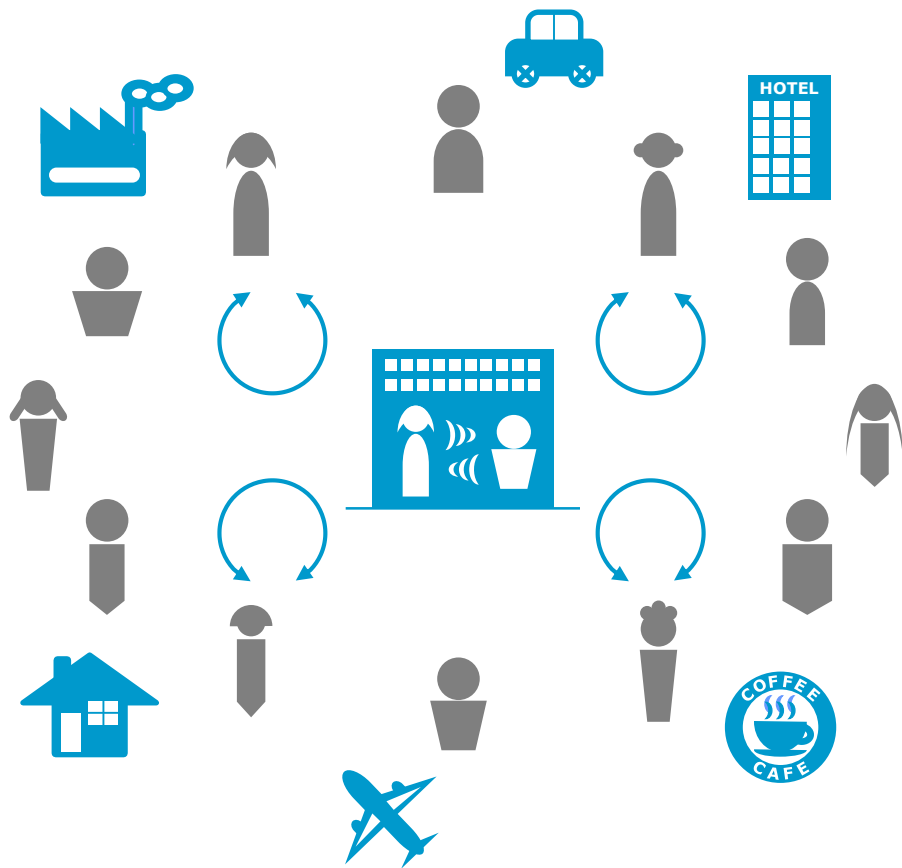
- 狙いは「短い時間で働き、 よく休み、よく学ぶ」こと
生産性の向上 **創造性の向上**
- ワークライフチョイス の機会を増やす取り組み
(就勤四日 & 週休三日制度トライアル)
- ワークライフチョイス の実践を促す取り組み
- 効果測定を実施し結果を公開



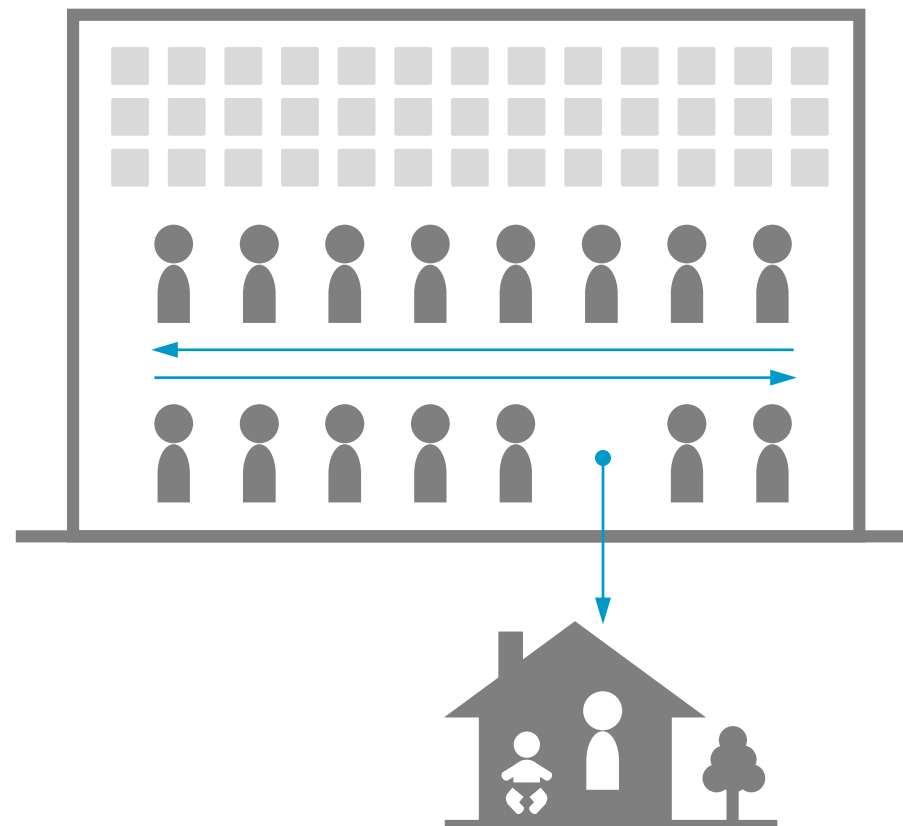


この違いは何か？（どんな価値観で何を目指すようになる？）

全員 毎日 “いつでも, どこでも, 誰とでも”



特別な時に, 一部の人が, 限定的な場所で

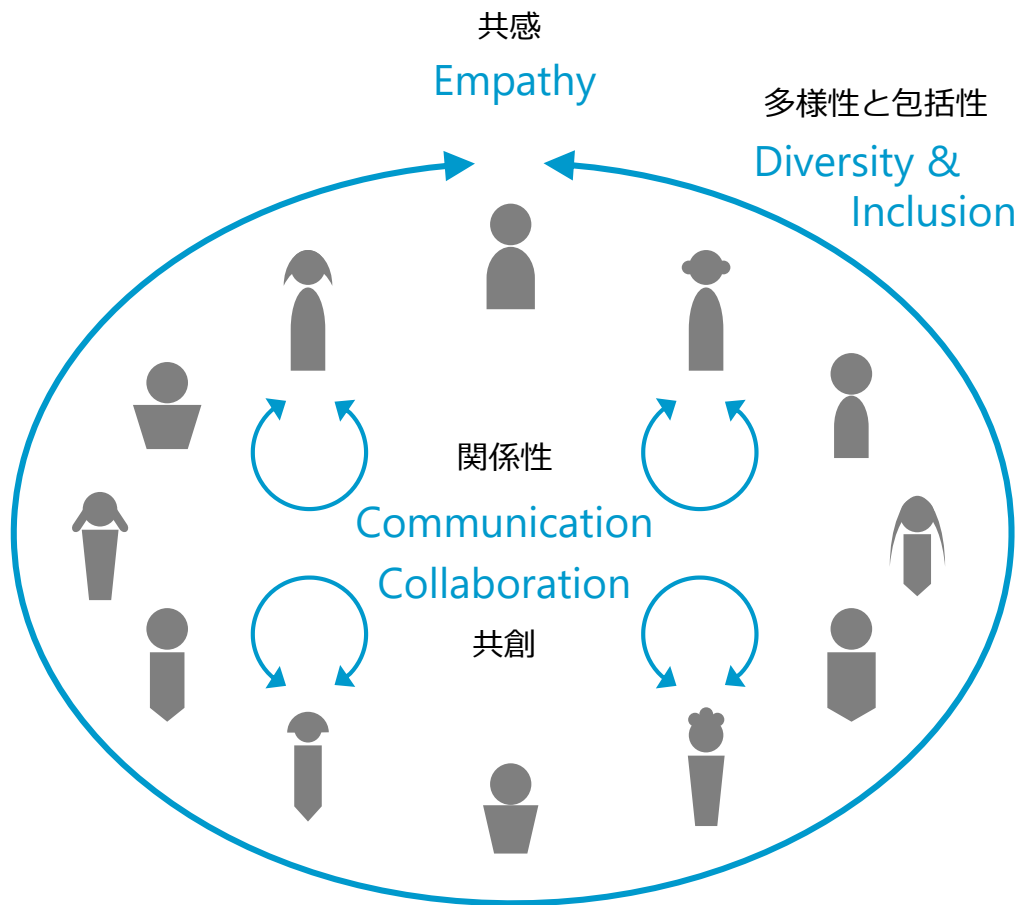


Microsoft の価値観

日本企業の習慣（成功体験）

innovation ←

→ operation



Diligent まじめ

Conformity
同質性

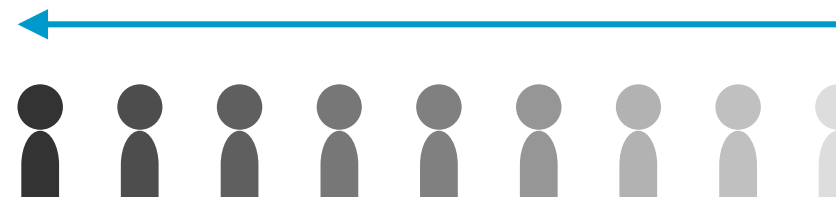
Rules
規律



Process
工程

Format
様式書式

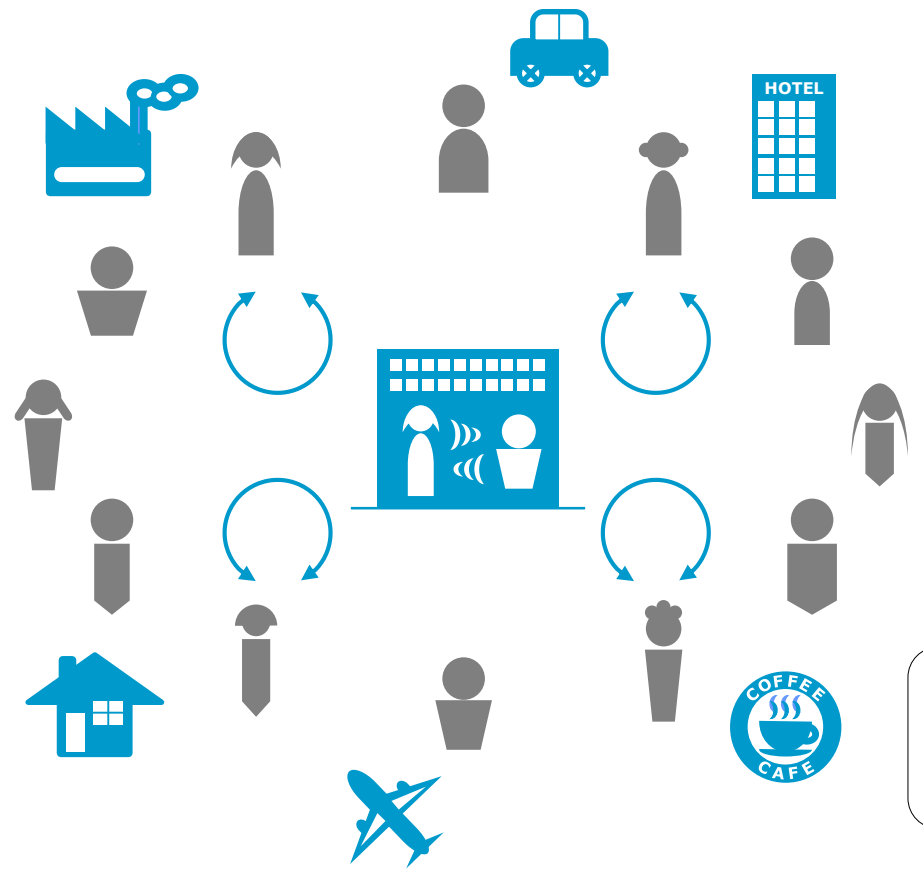
Procedure
手順



“働き方” のデザイン

価値観の実践

- Empathy
共感
- Diversity & Inclusion
多様性と包括性
- Communication
関係性
- Collaboration
共創

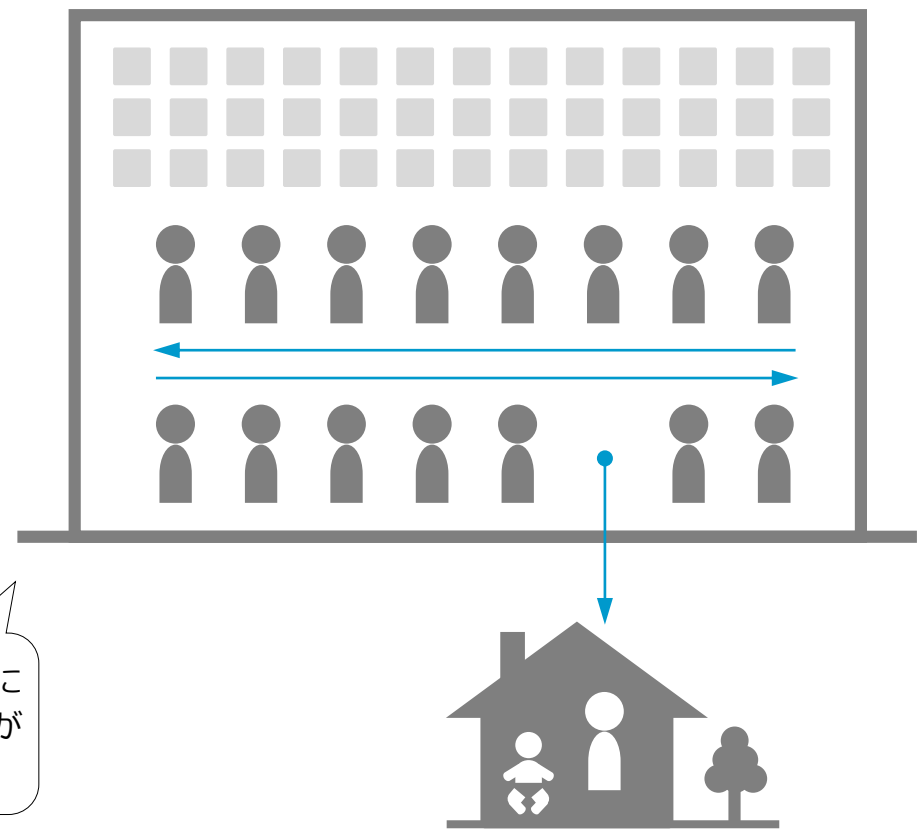


いつでも
どこでも
誰とでも

特別な時に
一部の人が
家で

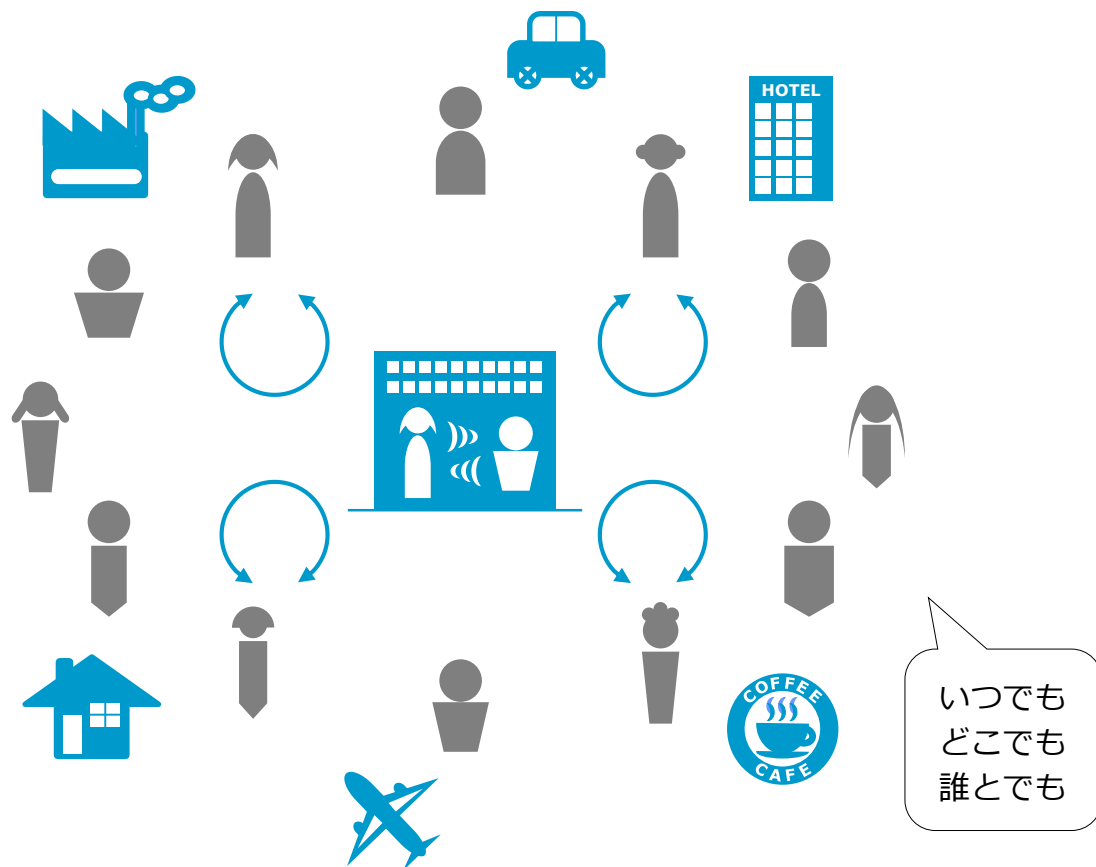
習慣に囚われた限定措置

- Diligent
まじめ
- Conformity
同質性
- Rules
規律
- Format
様式書式
- Procedure
工程



価値観の実践

Empathy 共感
Diversity & Inclusion 多様性と包括性
Communication 関係性
Collaboration 共創



いつでも
どこでも
誰とでも

“価値観の実践” には何が必要だったか？

1

業務の整理整頓 “標準化” & “電子化”

- ・ 例外対応, 例外要求, 例外処理 ⇒ 最小化
- ・ 聖域無き “ペーパーレス” への挑戦
- ・ 毎日の業務を支える礎（組織能力）
“効率・フルビリティ・安全・可視化”

2

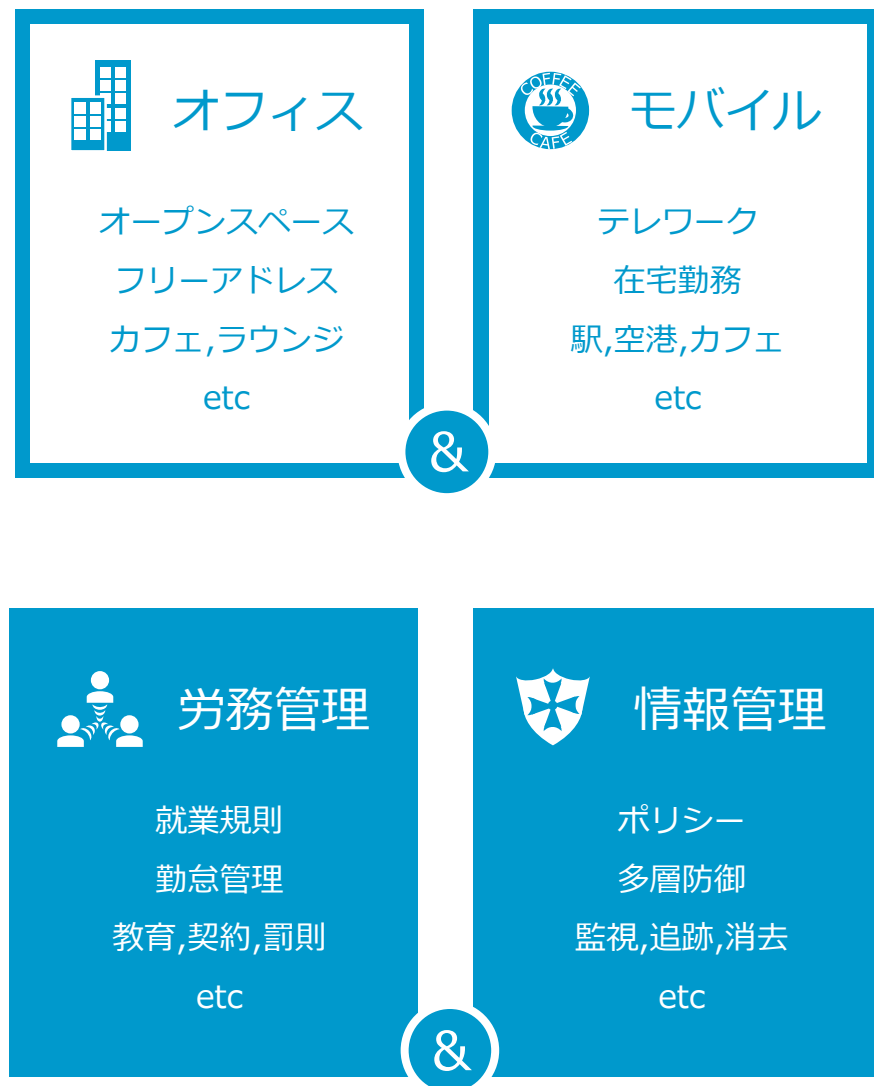
圧倒的に “便利” で “安心安全” な環境整備

- ・ 空間デザインの工夫で “コラボ促進”
- ・ クラウド活用で “どこでも業務”
- ・ 万全 & 厳格なリスクコントロール
“労務管理” & “情報管理”

3

“習慣化” を経て実現する “企業文化”

- ・ リーダーシップ = “トップの覚悟”
- ・ とにかくやってみる = “習うより慣れよ”
- ・ 社内広報活動 = “言語化” と啓蒙啓発



便利
効率

安心
安全

“価値観の実践” には何が必要だったか？

1

業務の整理整頓 “標準化” & “電子化”

- ・ 例外対応, 例外要求, 例外処理 ⇒ 最小化
- ・ 聖域無き “ペーパーレス” への挑戦
- ・ 毎日の業務を支える礎（組織能力）
“効率・フルビリティ・安全・可視化”

2

圧倒的に “便利” で “安心安全” な環境整備

- ・ 空間デザインの工夫で “コラボ促進”
- ・ クラウド活用で “どこでも業務”
- ・ 万全 & 厳格なリスクコントロール
“労務管理” & “情報管理”

3

“習慣化” を経て実現する “企業文化”

- ・ リーダーシップ = “トップの覚悟”
- ・ とにかくやってみる = “習うより慣れよ”
- ・ 社内広報活動 = “言語化” と啓蒙啓発

“安心安全”な環境整備：情報管理

[02]
情報資産分類

[01]
MS Policy

[12]
情報保護推進体制

[11]
報告/相談/通報

[03]
個人情報保護

[10]
Internal Audit

[04]
個人情報管理台帳



労務管理

就業規則
勤怠管理
教育, 契約, 罰則
etc



情報管理

ポリシー
多層防御
監視, 追跡, 消去
etc

&

[09]
雇用契約/罰則

[05]
データ/ファイル保護

[06]
デバイス管理/保護

[07]
紛失, 盗難の対処

[08]
従業員教育

“安心安全”な環境整備：労務管理

[14]
テレワーク勤務制度

[13]
雇用形態/雇用契約

[24]
監査/報告

[23]
罰則/懲戒処分

[15]
その他勤務制度



労務管理

就業規則
勤怠管理
教育, 契約, 罰則
etc



情報管理

ポリシー
多層防御
監視, 追跡, 消去
etc

&

[16]
就業時間/勤務時間管理

[22]
多様性推進

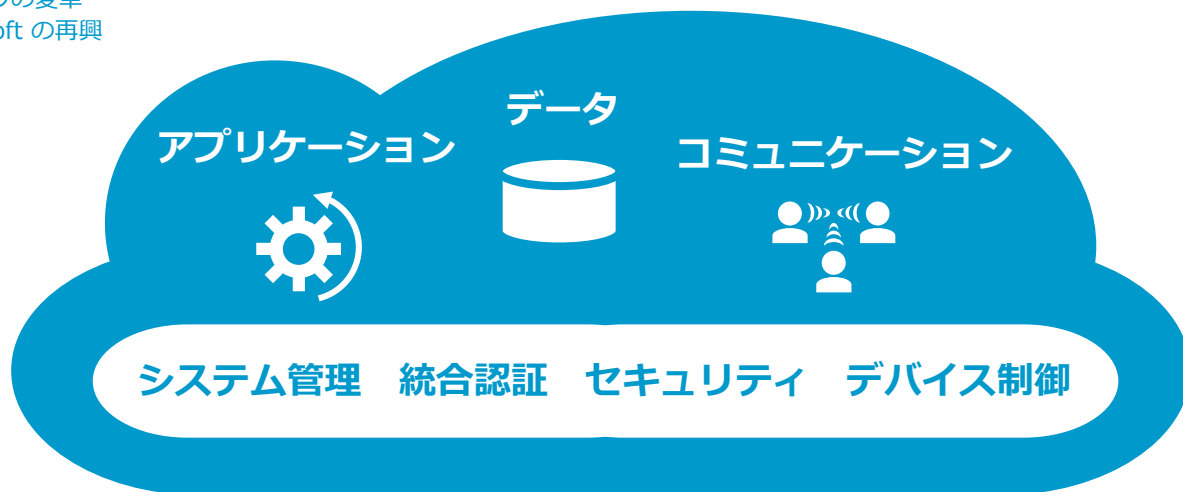
[21]
社員意識/満足度調査

[17]
健康管理/安全衛生

[18]
就業ログ/システムログ

[19]
目標管理/進捗管理

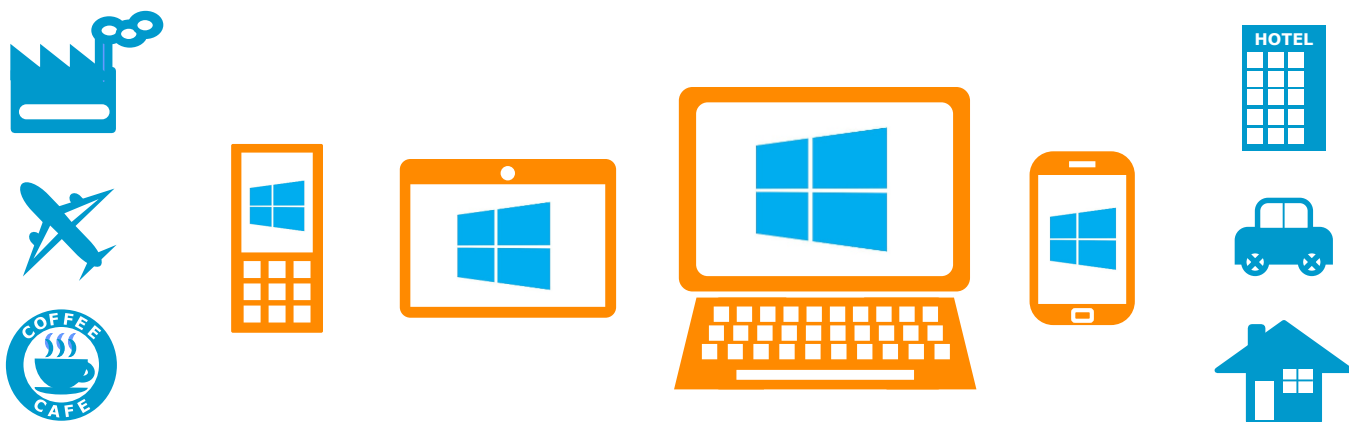
[20]
評価制度/褒章



- ・ 情報システムはクラウド上からサービスとして提供
- ・ 世界中で業務を行う従業員へ同一のサービスレベルを保証



- ・ 自社ネットワーク以外の公衆網の利用を前提としたセキュリティ対策



- ・ 各種デバイスはガバナンス下に置かれ利便性と安全性の観点で常に最新状態
- ・ 社外利用を前提とし、認証と情報保護には多層（多段階）防御で対処

← 2011年2月 →



- ・ “壁”だらけの空間
- ・ 捨てられない “紙”
- ・ 固定席 & 固定電話
- ・ 話はすべて “会議体”
- ・ 非効率な空間設計



集中



- ・ 集中レベルに応じた
ゾーニング
- ・ 場面に合わせ視線や
音（ノイズ）を遮断



コラボレーション



- ・ フレキシブル
シーティング
- ・ 多目的に利用可能な
オープンスペース

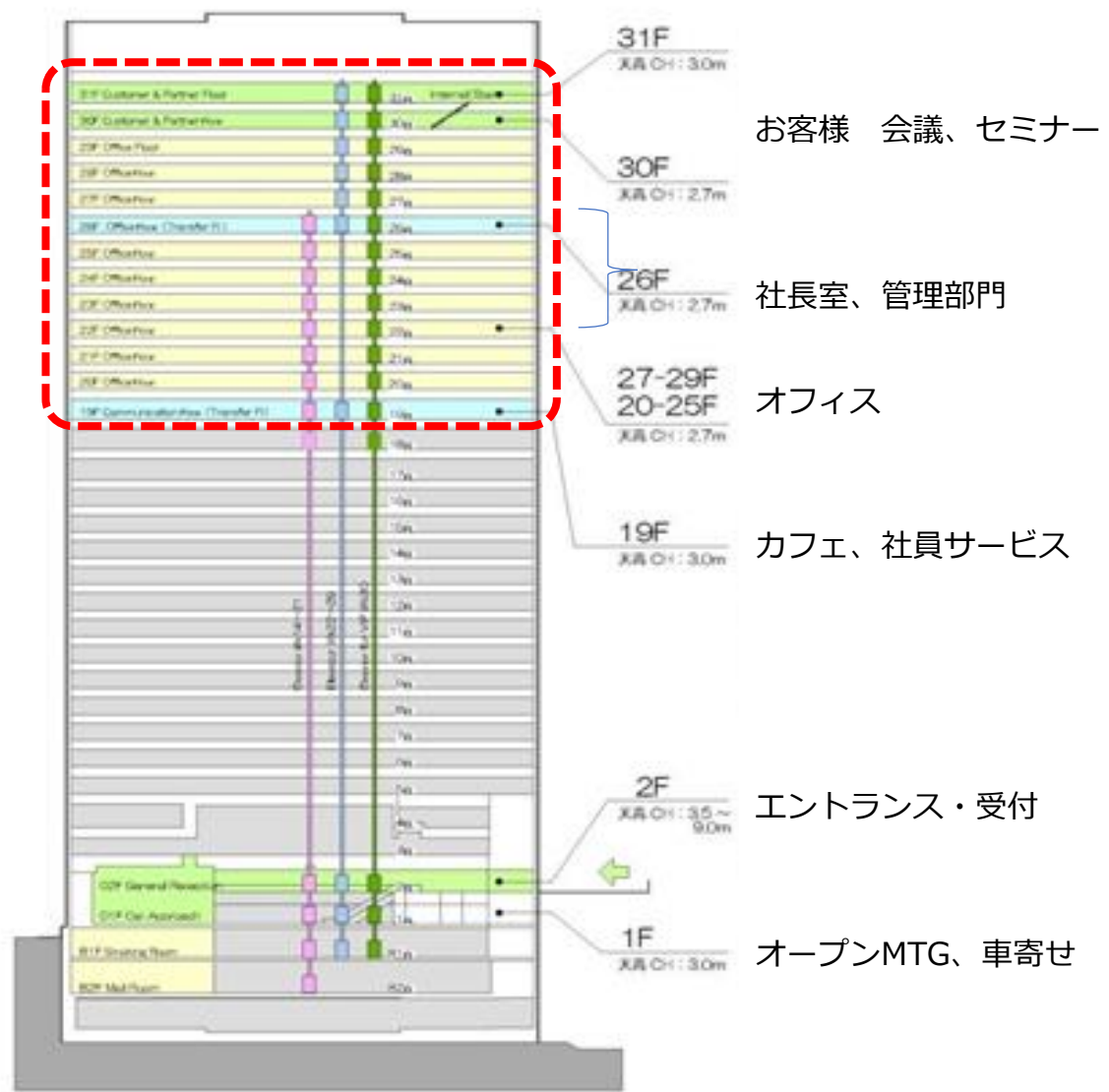


リラックス



- ・ 色調,材質,デザイン
工夫された空間
- ・ 選択できる居心地の
良さ（多様性）

品川本社オフィス（SGT） 概要



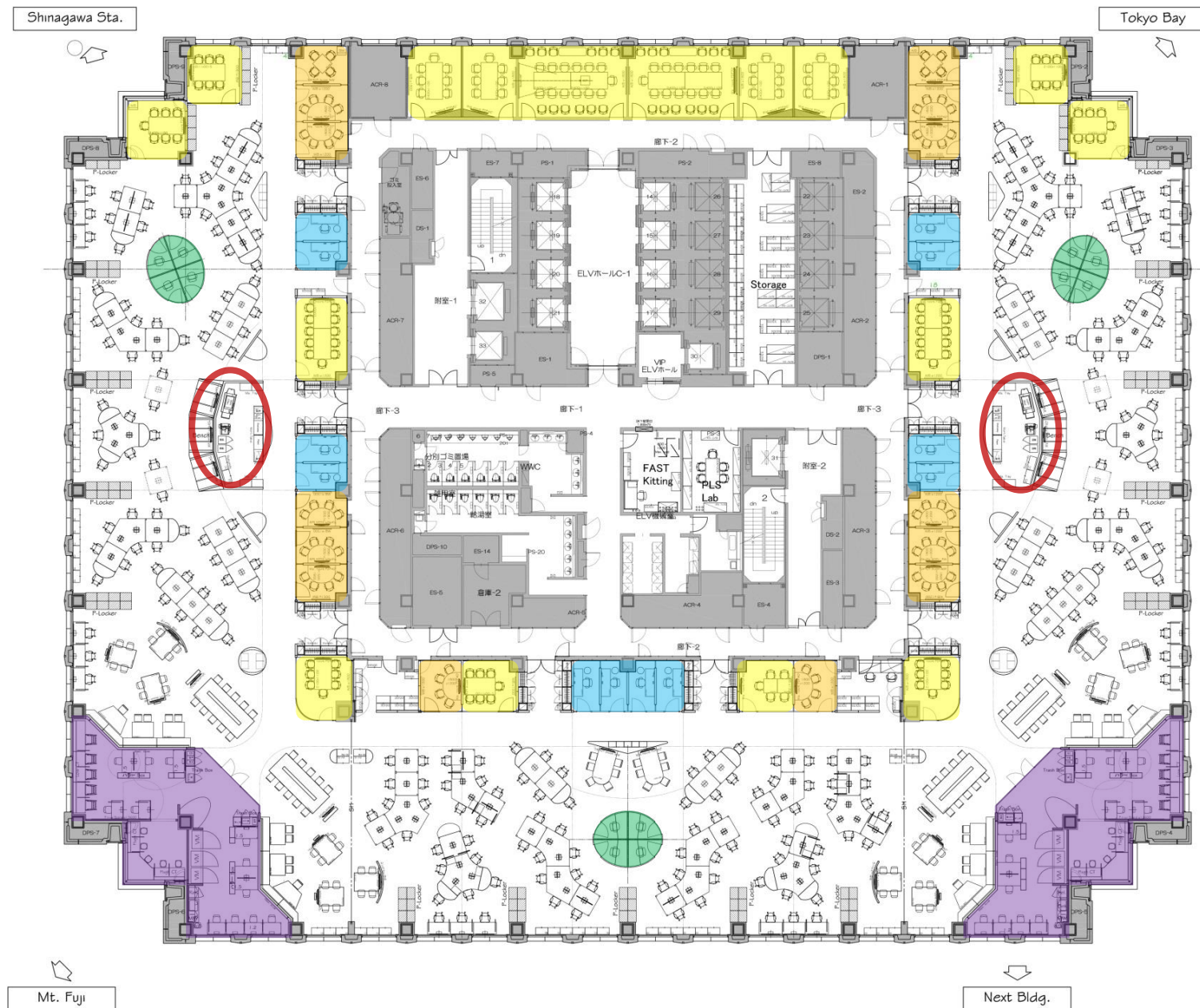
Space
34,000 SM
Meeting room: 418

Free address
90%+
(営業フロア/人事、経理等管理系含む)
*コールセンター、開発部隊、派遣、業務委託の方は固定席

HC
2,810
12m²/HC
(来客会議フロアを含む)

Visitor
500+/Day
累計100万人+
2011年3月~2018/2月末

レイアウト図



専有面積 : 2,750m²
 会議室数 : 54
 ヘッドカウント : 400~420
 ワークポイント : 200~230
 レシオ : 1.8~2.0
 在籍率 : 35~45%
 会議室の使用率 : 50~60%

*ワークポイントにタッチダウン席、
オープンMTGエリアは含まず

 Functional area/copy, stationary,
mail box, recycle box

 Library area
vending machine,

 Focus room 【14】

 Concentration booth 【12】

 Phone booth 【12】

 Internal meeting room 【16】

経営トップのリーダーシップ

「ワークスタイル変革」を 経営戦略の重要テーマとして位置づけ

●社員総会での当時社長樋口からのメッセージ（2010年）



●社員総会での社長平野からのメッセージ（2015年）



多様性（Diversity & Inclusion）の尊重を 組織力の源泉として期待

●Diversity & Inclusion活動と情報発信（Webサイト）



●社員総会での社長平野からのメッセージ（2015年）

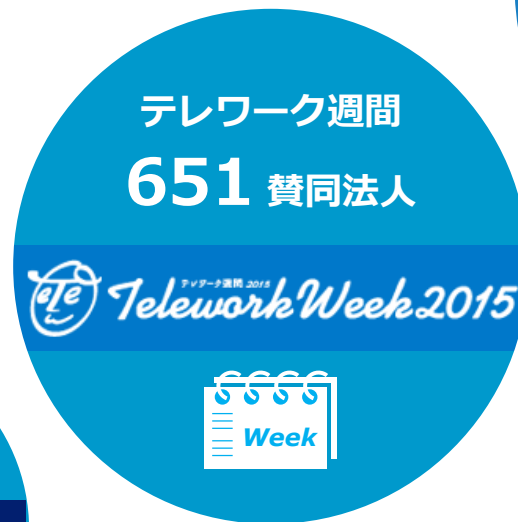


“習うより慣れよ” → “働き方改革週間”
震災体験での学びを仕組化

働き方の多様性を
試みる,実践する・学ぶ,議論する・応援する,協力する

② 賛同企業募集

① 自社単独



④ 国民運動への貢献

— 2011 — 2012 — 2013 — 2014 — 2015 — 2016 —→



“Hit Refresh”

ナデラの変革
Microsoft の再興

ワークライフチョイスチャレンジ 2019 夏 成果報告 ➡

<https://news.microsoft.com/ja-jp/2019/10/31/191031-published-the-results-of-measuring-the-effectiveness-of-our-work-life-choice-challenge-summer-2019/>

ワークライフチョイスチャレンジ 2019 夏を開始 ➡

<https://news.microsoft.com/ja-jp/2019/07/23/190723-ms-worklifechoice2019/>

企業変革を阻害しているのは「あなた」かも？ ➡

<https://toyokeizai.net/articles/-/309803>

週休3日も夢じゃない！ Microsoft Teamsで実現する業務効率化 ➡

<https://www.kddimatomete.com/magazine/191101110841/>

東京都 スムーズビズ 取組事例インタビュー記事 ➡

<https://smooth-biz.tokyo/example-microsoft.html>

異業種連携によるミレニアル世代の働き方改革推進コミュニティ発足 ➡

<https://news.microsoft.com/ja-jp/2019/02/08/190208-info-minds/>

日本マイクロソフト、週休3日の「ワークライフチョイス」をトライアルで自社実践 ➡

<https://cloud.watch.impress.co.jp/docs/news/1181746.html>

今や訪問者100万人超！ 生産性が圧倒的に高い企業の秘密 @ DIAMOND Online ➡

<https://diamond.jp/articles/-/177451>

形から入るだけの働き方改革にメリットはない @ DIAMOND Online ➡

<http://diamond.jp/articles/-/131326>

儲けるための「働き方改革」～マイクロソフトの20年間にわたる働き方改革の軌跡 ➡

https://cloudblogs.microsoft.com/industry-blog/ja-jp/microsoft-in-business/2018/11/22/hataarakikata_seminar2017/

働き方改革を“企業成長の武器”に @ IT media ➡

<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1705/13/news005.html>

事業生産性26%向上をもたらした働き方改革とAI活用 @ HR Conference ➡

<http://hr-conference.jp/report/r201705/report.php?sid=919>

マイクロソフトの「儲かる働き方改革」への道 @ マイナビ ➡

<http://news.mynavi.jp/articles/2017/08/07/mswork/>

働き方改革に IT が果たすべき役割とは @ ビジネス+IT ➡

<http://www.sbbbit.jp/article/bitsp2/33927>

第1回厚生労働大臣表彰「輝くテレワーク賞」受賞 ➡

https://blogs.technet.microsoft.com/microsoft_japan_corporate_blog/2015/11/04/3615/

働くが変わる：テレワーク月間事例ビデオ @ 総務省 ➡

<https://www.youtube.com/watch?v=s9zqlURT0qc>

“儲かる”から確実に成果が出続ける「働き方改革」—日本マイクロソフトの実践 ➡

<http://it.impressbm.co.jp/articles/-/14104>

スマートワーク総研インタビュー「MSが提言するスマートワークとは？」（前編） ➡

<https://swri.jp/article/39>

スマートワーク総研インタビュー「MSが提言するスマートワークとは？」（後編） ➡

<https://swri.jp/article/40>

ワークスタイル改革を支援する代表的なIT企業 @ 日経BPコンサルティング ➡

<http://consult.nikkeibp.co.jp/news/2015/0821ws>

ワークスタイル変革と組織力の向上 @ 赤門マネジメントレビュー（講義抄録） ➡

<http://www.gbrc.jp/journal/amr/AMR10-12.html>





“Hit Refresh”
ナデラの変革
Microsoft の再興

ワークワイフチョイスチャレンジ 2019 夏

「ワークライフチョイス チャレンジ 2019 夏」の実施概要

- 狙いは「短い時間で働き、 よく休み、よく学ぶ」こと
生産性の向上 **創造性の向上**
- ワークライフチョイス の機会を増やす取り組み
(就勤四日 & 週休三日制度トライアル)
- ワークライフチョイス の実践を促す取り組み
- 効果測定を実施し結果を公開

Work Life Choice の実践を促す社員支援プログラム例

ワークライフチョイス チャレンジ

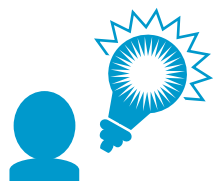
2019
夏

for Work

自己成長と学びの視点



自己啓発関連費用支援



異文化異業種職場体験

for Life

私生活やファミリーケアの視点



“ わくわくライフ ” 関連費用支援

(レジャー, エンターテインメント, トラベル, リラクゼーション, スポーツ)



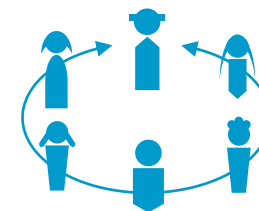
ファミリーケア アイデア コンテスト

for Society

社会参加や地域貢献の視点



社会貢献活動費用支援



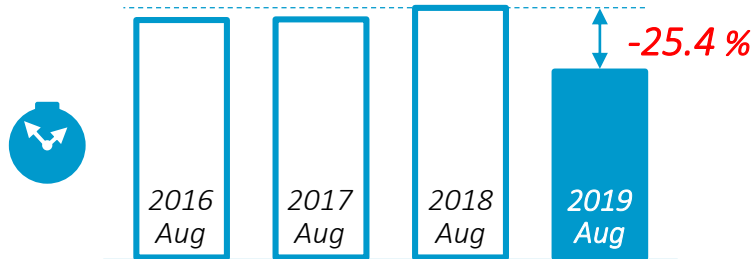
社会貢献活動マッチング

“ワークライフチョイス チャレンジ2019 夏” 効果測定項目フレームワーク

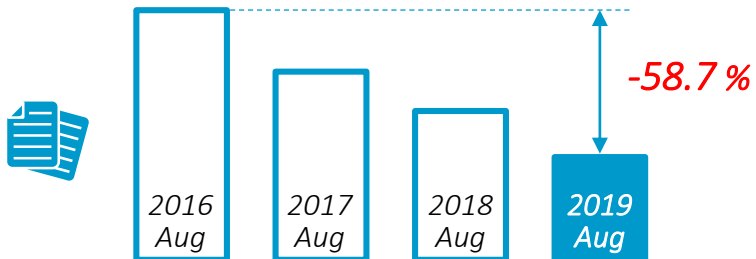
削減

コスト／紙...etc 削減や最小化を目標とする指標群

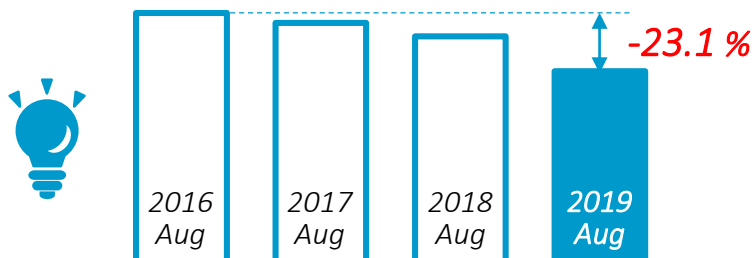
[A] 月あたり就業日数(“8月”実績4期比較 *day)



[B] 月あたり印刷枚数(“8月”実績4期比較 *枚数)



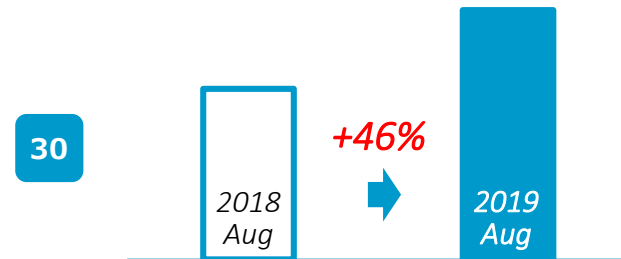
[C] 月あたり電力消費量(“8月”実績4期比較 *kwh)



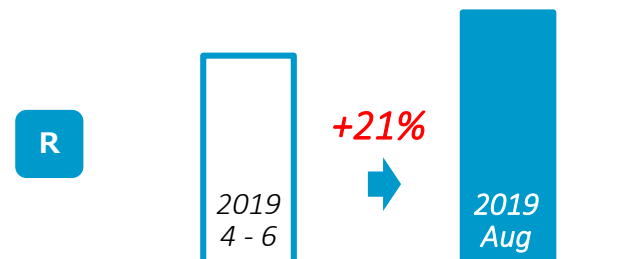
向上

頻度／時間...etc 状態の活性化／増加を目的とする指標群

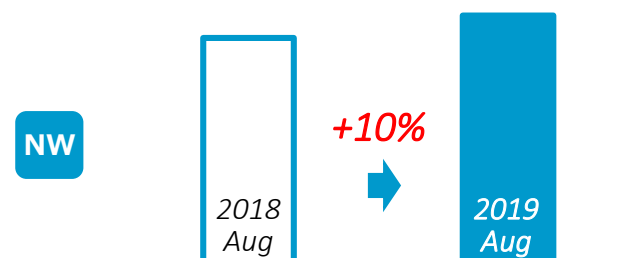
[D] “30分会議” 実施比率(Smart Meeting KPI)



[E] “リモート会議” 実施比率(Smart Meeting KPI)



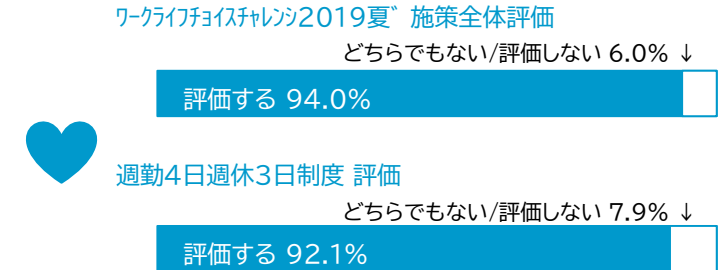
[F] 一日あたりネットワーク数(人財交流)



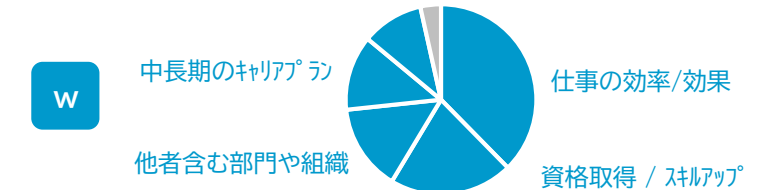
満足

認知度／満足度...etc 気持ちや印象を確認する指標群

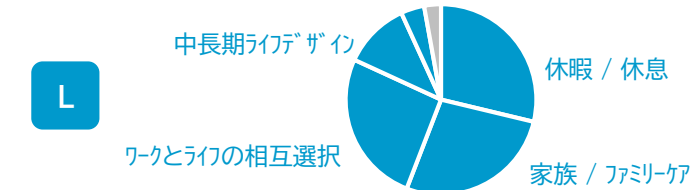
[G] ワークライフチョイス チャレンジ2019夏 総合評価



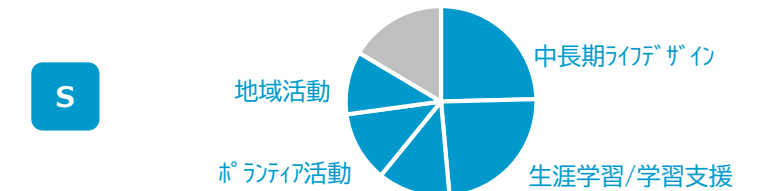
[H] “for Work” カテゴリ 意識/行動への変化/影響



[I] “for Life” カテゴリ 意識/行動への変化/影響



[J] “for Society” カテゴリ 意識/行動への変化/影響



“ Work Life Choice Challenge 2019 夏 ” 社内アンケート（最終）

- 「ワークライフチョイス チャレンジ 2019 夏」は平野さんから以下のように説明され、その後何度か社内広報活動でも紹介されています。
このメッセージに関するあなたの印象にもっとも近い選択肢はどれですか？

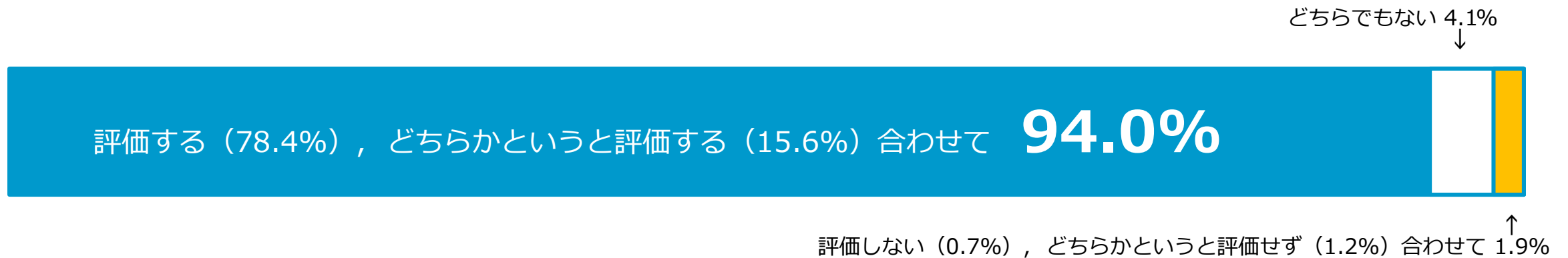
「短い時間で働き、よく休みよく学ぶ」



“ Work Life Choice Challenge 2019 夏 ” 社内アンケート（最終）

- 「ワークライフチョイス チャレンジ 2019 夏」には以下の内容が含まれます。
この取り組みに関するあなたの印象にもっとも近い選択肢はどれですか？

週勤四日週休三日制度、活動資金補助、異業種体験企画、ファミリーケアコンテスト、社会貢献活動企画、スマートミーティング宣言、これらの社内外広報活動



“ Work Life Choice Challenge 2019 夏 ” 社内アンケート（最終）

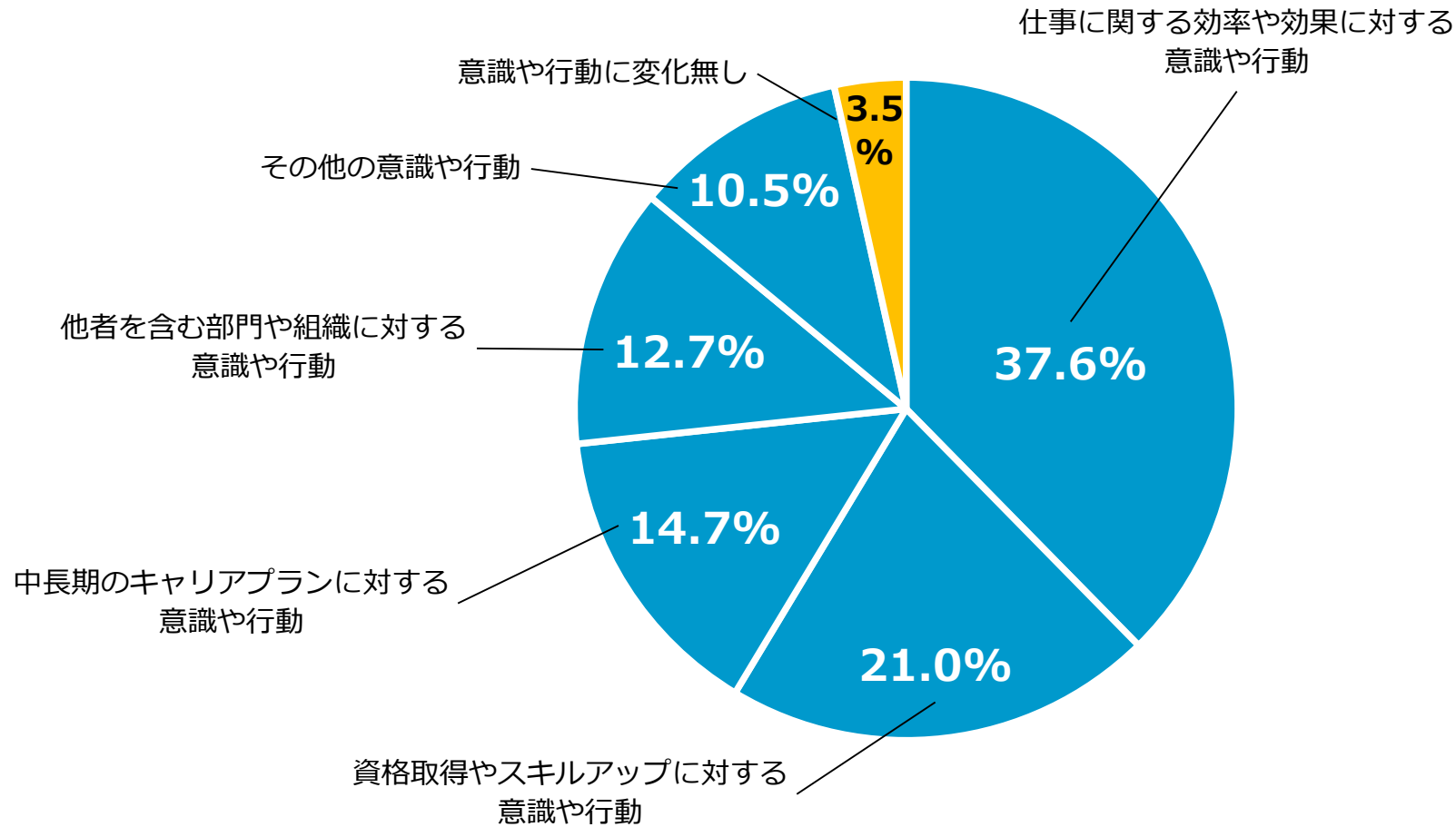
- 今回トライアルとして実施された「週勤四日週休三日制度」について、あなたの印象にもっとも近い選択肢はどれですか？



“ Work Life Choice Challenge 2019 夏 ” 社内アンケート

- 「ワークライフチョイス チャレンジ 2019 夏」施策を通じ以下の観点で、あなたの意識や行動に変化や影響がありましたか？（複数選択可）

【for Work : 仕事のやり方や自己啓発について】



基礎から勉強して
ディープラーニングの
資格取得

ここ数年チャレンジしたいと思っていたAI、ディープラーニングを勉強し、社外のディープラーニングの資格を取得。より業務に活かせるようにMicrosoft Azure の Cognitive Serviceを触ったり、Azure 資格取得の勉強も。ハンズオンをしないと理解できないような学習は隙間時間でやるのが難しいため、今回のようにまとまった時間がとれたことで、効率良く集中して勉強できました！



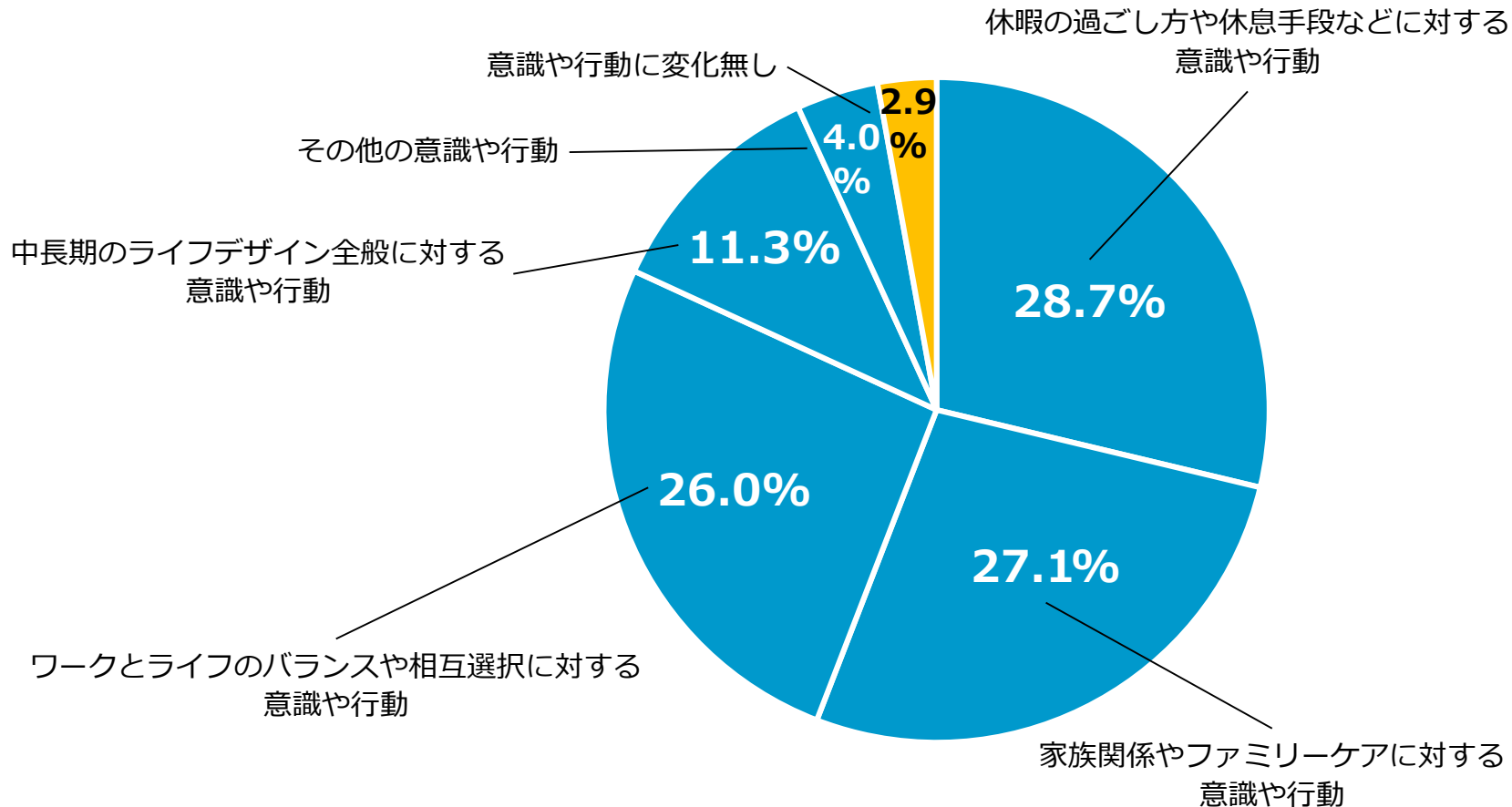
受講中のMBAの
プログラムで
自動車工場見学に参加

現在 大学院の経営管理研究科(MBA)の夜間に通っており、特別休暇となった金曜日に大学院のものづくり部が開催した本田技研工業様の工場見学に参加。7月にオートモーティブ営業統括本部に異動になったのですが、自動車業界を担当するのは初めてだったため、自動車の製造工程を見ることができ、勉強になった。

“ Work Life Choice Challenge 2019 夏 ” 社内アンケート

- 「ワークライフチョイス チャレンジ 2019 夏」施策を通じ以下の観点で、あなたの意識や行動に変化や影響がありましたか？（複数選択可）

【for Life : ライフデザインやファミリーケアについて】



実家の豆腐屋さんで デジタルトランス フォーメーション

実家の豆腐屋でのECサイトの開設や、SNSでのプロモーション、また LINEチャットボットの開発などに挑戦。今回の挑戦内容は、日頃自身がお客様へ訴求している内容とも近いエリアでしたが、チャットボットを1つ立ち上げるのにも、悩んだり、何日間も躓いたり、失敗したりして、改めて営業としてお客様の気持ちに寄り添うことができる経験になった。



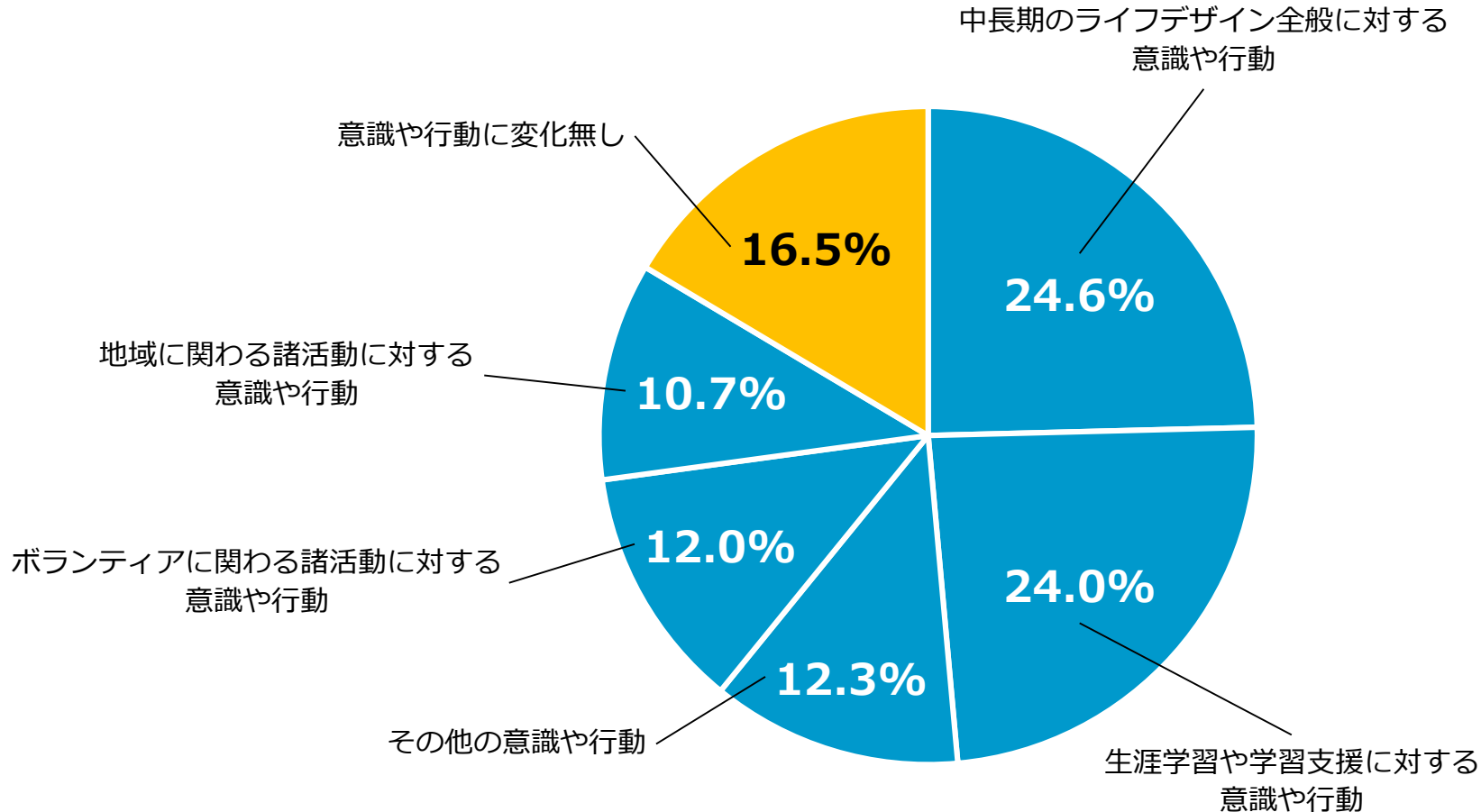
1か月間子どもと帰省 実家から リモートワーク

8月の1か月間、実家でリモートワークを行った。普段は母子二人暮らしですが、子どもに大家族の生活や自然に触れることを経験させたく実行。今回のチャレンジを機に、オンラインでコミュニケーションしやすい環境をチームで考え、整備できました。いつ誰がリモートの場合でも、チームで対応できる環境づくりに引き続き取り組んでいきたい。

“ Work Life Choice Challenge 2019 夏 ” 社内アンケート

- 「ワークライフチョイス チャレンジ 2019 夏」施策を通じ以下の観点で、あなたの意識や行動に変化や影響がありましたか？（複数選択可）

【for Society : 社会貢献や地域活動について】



母校の
工業高等専門学校で
Microsoft Azure
体験会を実施

母校の工業高等専門学校の学生向けに Microsoft Azure の体験会を実施。日々幅広く技術を学び、熱意のある学生の皆さんに、最先端の技術に触れる機会を提供したいと思い実施した。当日は15名の学生が参加され、前のめりになりながらハンズオンに取り組んでくれ、終了後には、ハンズオンで実施した内容の枠を超えて様々なアイデアが生まれ、今後の学習や研究に使っていききたいとの声も。

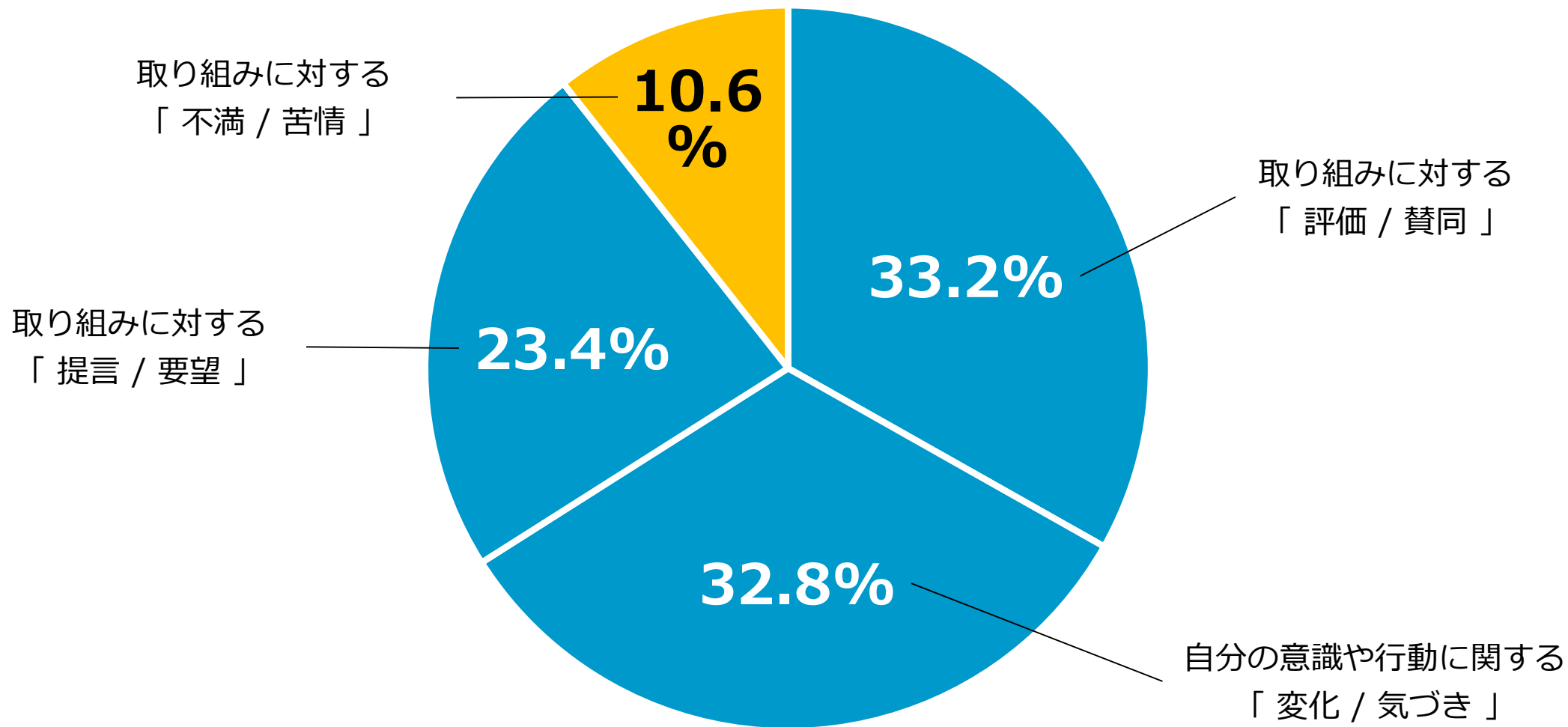


マイクラフトカップ
に出場する
陸前高田市子ども
たちのプロボノ支援

NPO法人SAVE TAKATAさんのプログラミング教育事業の一環としてマイクラフトカップに参加する陸前高田市の子どもたちを現地で支援。2019年4月から週次オンライン会議で大会参加へのサポートをしていが、震災時の記憶が曖昧な世代である中学生が、震災前・現在・将来の3つの陸前高田市をマイクラフトの世界内に表現しようと奮闘する姿にとっても感銘を受けた。

“ Work Life Choice Challenge 2019 夏 ” 社内アンケート

● フリーコメント（傾向分類）



〈多様性〉と〈主体性〉で育まれる社員の〈創造性〉

〈主体性〉

〈創造性〉

Work or Life

(二択)

W

on

off

L

Work Life
Balance

(比率)

W L

%

W L

Work Life

Choice

(選択肢)

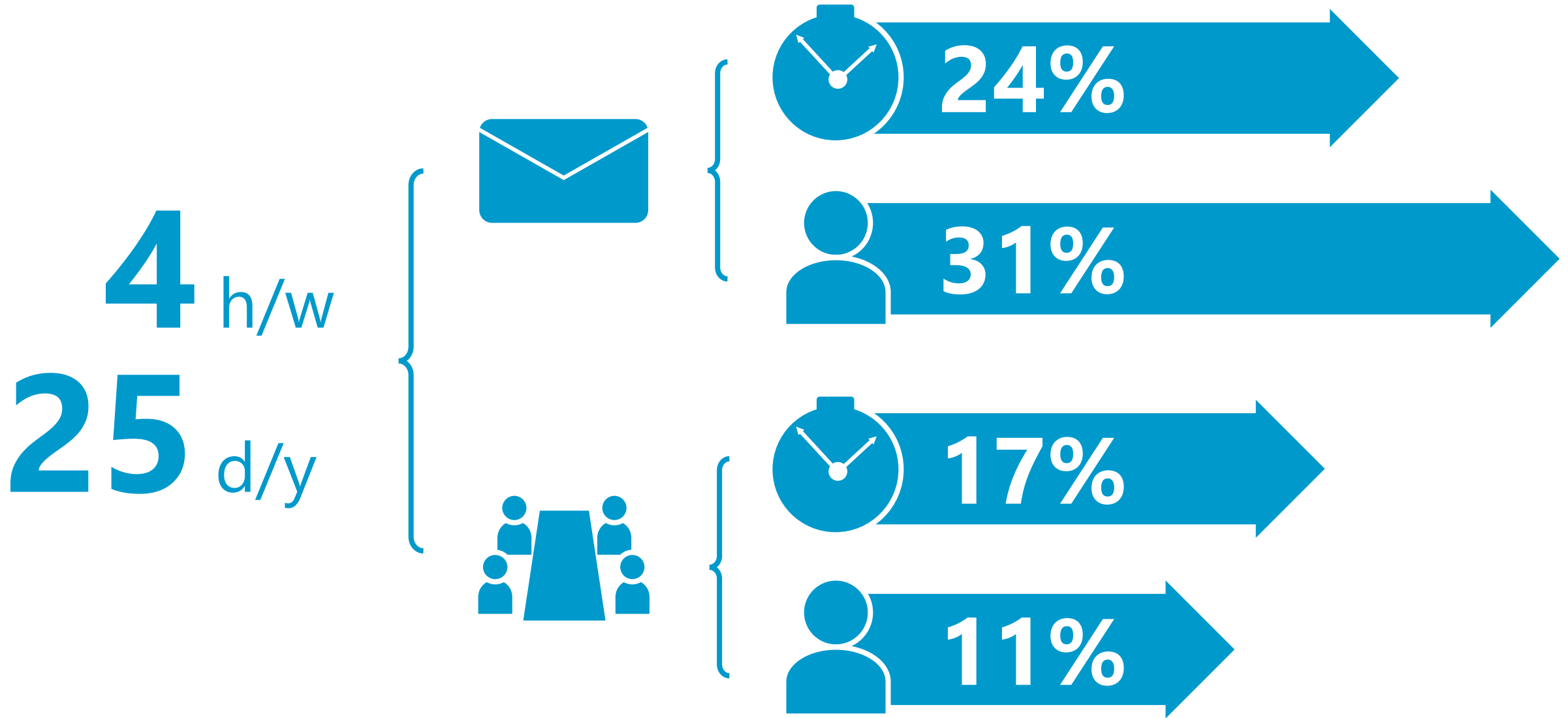


考える習慣

よりはやく
より効果的に
やりやすく
もっと安全に
自分のため
家族のため
同僚はどうか
お客様は
何ができるか
何ができないか
他の方法は ...

〈多様性〉

MSKK vs Global MS Employees



今日から始めましょう「会議のお作法」

会議設定は基本

30分で

人数は多くて

5人で

そもそもコラボは

Teams
活用で

WLCC_KPI (Summary)

対象期間

2019年6月2日 2019年6月8日

Date

2019年6月2日

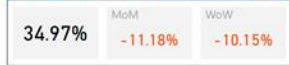
30分会議率



5人会議率



コール/リモート率



送信IM率



組織	30分会議率	前月差	前週差	5人会議率	前月差	前週差	3-Min-1率	前月差	前週差	送信IM率	前月差	前週差
全体	15.98%	-0.46%	-1.11%	38.57%	0.47%	-1.56%	34.97%	-11.18%	-10.15%	63.50%	2.91%	1.37%
	22.69%	● -3.12%	● -6.85%	21.18%	● -2.55%	● -4.71%	20.61%	● -16.74%	● -15.09%	54.73%	● -0.81%	● -8.31%
	25.79%	● 7.43%	● -5.76%	42.63%	● 1.06%	● -13.65%	46.44%	● -1.19%	● 7.55%	72.21%	● 16.66%	● 16.26%
	18.95%	● 3.23%	● 3.85%	78.53%	● 9.44%	● 3.19%	8.73%	● 0.01%	● 3.51%	49.62%	● 9.75%	● 1.15%
	18.56%	● -1.45%	● -1.26%	47.09%	● -0.64%	● -1.29%	44.19%	● -0.59%	● -9.95%	46.56%	● -0.65%	● -3.95%
	14.41%	● -1.93%	● -3.34%	59.55%	● 5.64%	● 1.21%	28.01%	● -2.55%	● 1.55%	56.97%	● 10.35%	● 10.72%
	10.20%	● -2.33%	● -1.41%	45.17%	● -11.62%	● -10.06%	22.66%	● -19.77%	● -11.71%	39.97%	● 6.90%	● 5.10%
	12.89%	● 0.33%	● -0.30%	39.06%	● -4.71%	● -9.72%	32.89%	● -8.29%	● -18.52%	51.84%	● 4.25%	● 0.37%
	10.05%	● -0.68%	● -0.78%	53.07%	● 2.43%	● 0.97%	34.93%	● -8.93%	● 1.38%	61.21%	● 2.75%	● 1.80%
	11.00%	● 1.41%	● -0.25%	51.69%	● 2.74%	● -2.91%	45.89%	● 8.62%	● 12.48%	55.53%	● 1.49%	● -0.55%
	12.44%	● 0.95%	● 1.83%	42.06%	● 0.70%	● -1.61%	35.60%	● -12.56%	● -21.15%	61.54%	● 1.92%	● 0.46%
	17.56%	● 0.38%	● -0.32%	46.71%	● 5.87%	● 3.72%	38.74%	● 1.85%	● 1.08%	63.89%	● 3.10%	● 1.71%
	9.73%	● -1.17%	● -2.08%	38.25%	● -9.62%	● -8.64%	24.34%	● -12.09%	● -10.96%	54.42%	● 1.67%	● -4.44%
	17.16%	● 1.52%	● -0.87%	33.62%	● 5.10%	● 2.78%	57.02%	● -41.59%	● 10.17%	50.91%	● -1.77%	● -8.20%
	23.94%	● 0.20%	● 5.13%	27.10%	● -1.79%	● -1.15%	51.21%	● -3.49%	● 2.53%	74.62%	● -1.73%	● -2.82%
	24.98%	● -0.25%	● -0.04%	21.07%	● 0.71%	● -0.99%	38.96%	● -22.37%	● -8.21%	72.92%	● 2.41%	● 1.67%
	18.23%	● -3.06%	● -7.44%	20.50%	● -6.66%	● -6.05%	67.91%	● 2.32%	● -14.01%	61.81%	● 6.83%	● 2.30%
	14.46%	● 1.82%	● -4.16%	7.81%	● -1.48%	● -4.12%	36.33%	● 3.44%	● -3.24%	84.58%	● 0.54%	● 0.36%
	22.51%	● -1.83%	● -2.76%	41.00%	● -2.93%	● -0.46%	36.85%	● -14.50%	● -58.45%	54.97%	● 5.13%	● -0.01%

WLCC_KPI (Meetings)

対象期間

2019年5月12日 2019年5月25日

連番号

20 21

参加会議数(一人当たり)



参加会議時間(一人当たり)



WLCC_KPI (Generated_workload_meetings)

対象期間

2019年5月12日 2019年5月25日

連番号

20 21

会議招集数(一人当たり)



会議招集人数(一人当たり)



招集会議時間(一人当たり)



WLCC_KPI (Meeting_Efficiency)

対象期間

2019年5月12日 2019年5月25日

連番号

20 21

30分会議率



Workplace Analytics

AIを活用し、組織全体の働き方の可視化と分析による行動変革を支援



チーム、組織全体の分析
・時間の使い方
(会議、メール、残業等)
・コラボレーション



組織内のデータとの統合分析
(人事評価データ、営業成績、
従業員向けサーベイ等)

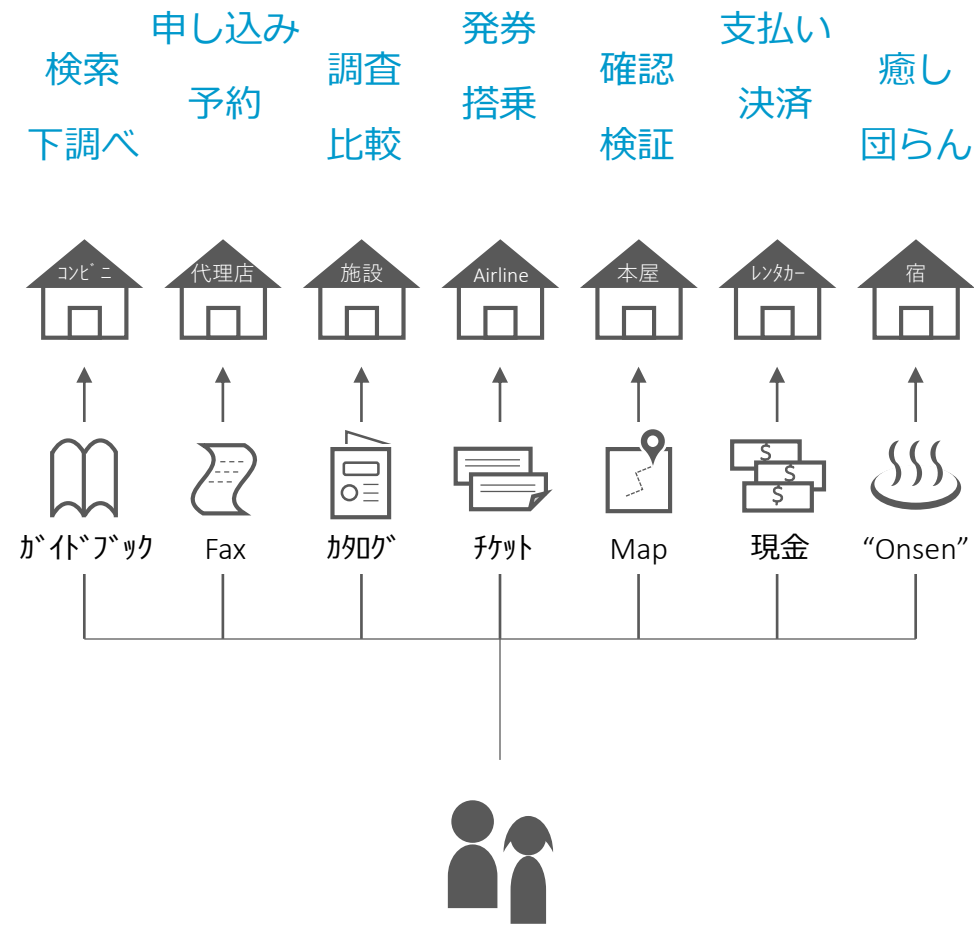


ワークライフチョイス チャレンジ期間中に、部門ごとに分析、効果測定

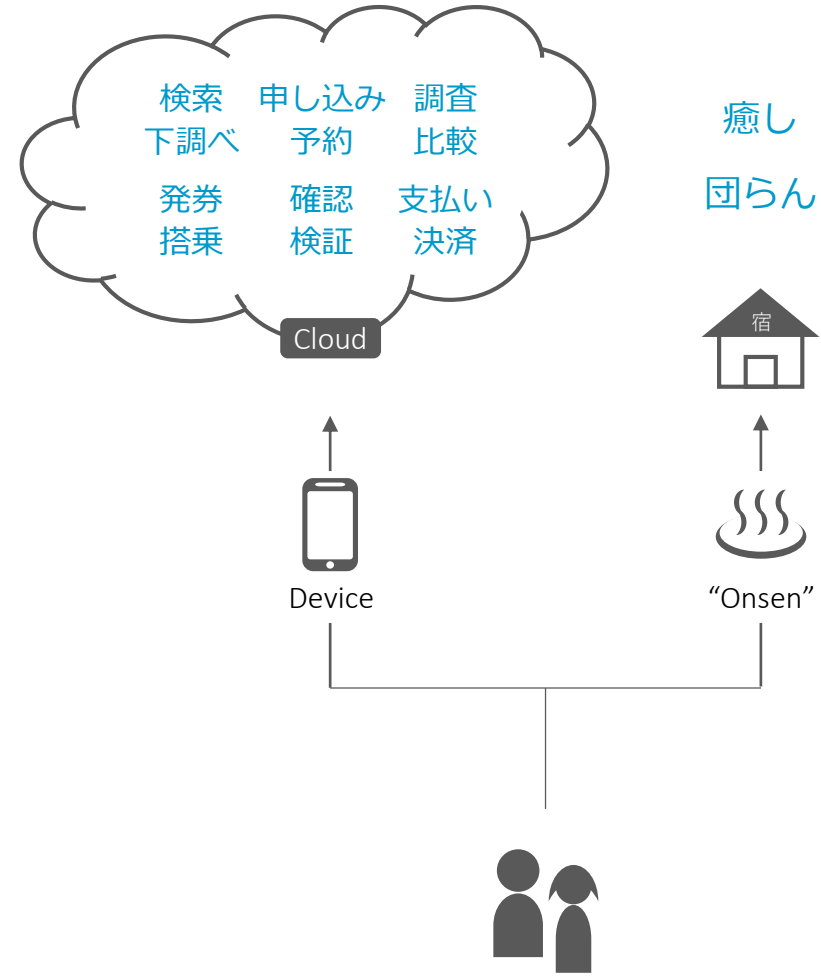
Onsen 理論

“Onsen” 理論：温泉旅行で “Onsen” 級に必然で無いモノは電子化される
(癒し・団らん)

以前の温泉旅行



現在の温泉旅行

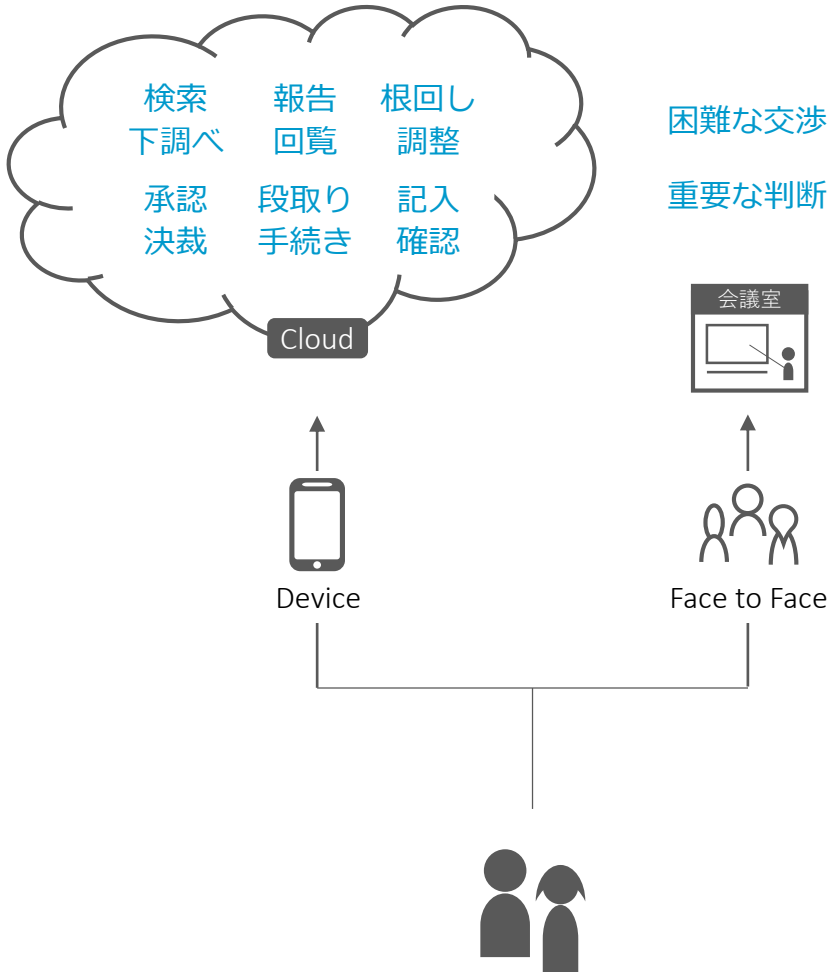


“Onsen” 理論：温泉旅行で “Onsen” 級に必然で無いモノは電子化される（仕事の場合）
（癒し・団らん）（サービス化）

“場所と媒体” に “制約された働き方”



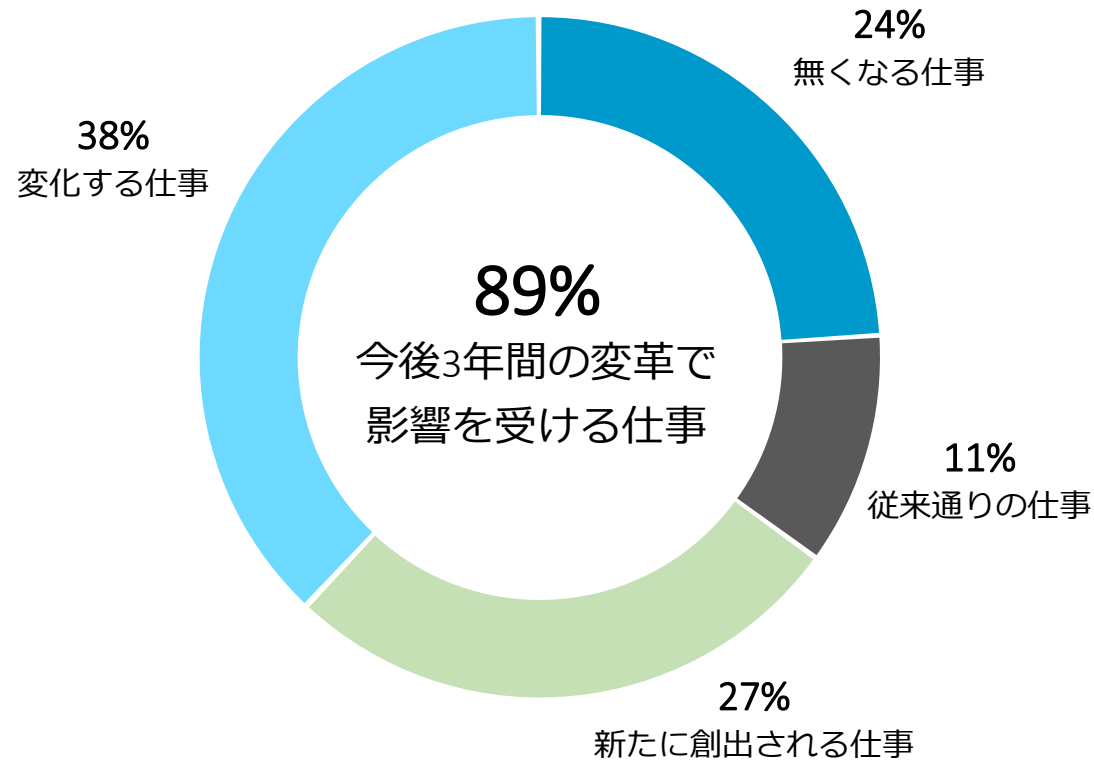
“場所と媒体” を “選択する働き方”



“Onsen” 理論：温泉旅行で “Onsen” 級に必然で無いモノは電子化される（仕事の場合）
（癒し・団らん） （サービス化）

Unlocking the Economic Impact of Digital Transformation

“場所と媒体” を “選択する働き方”



Microsoft In Partnership with IDC

